

CSA Play Analysis

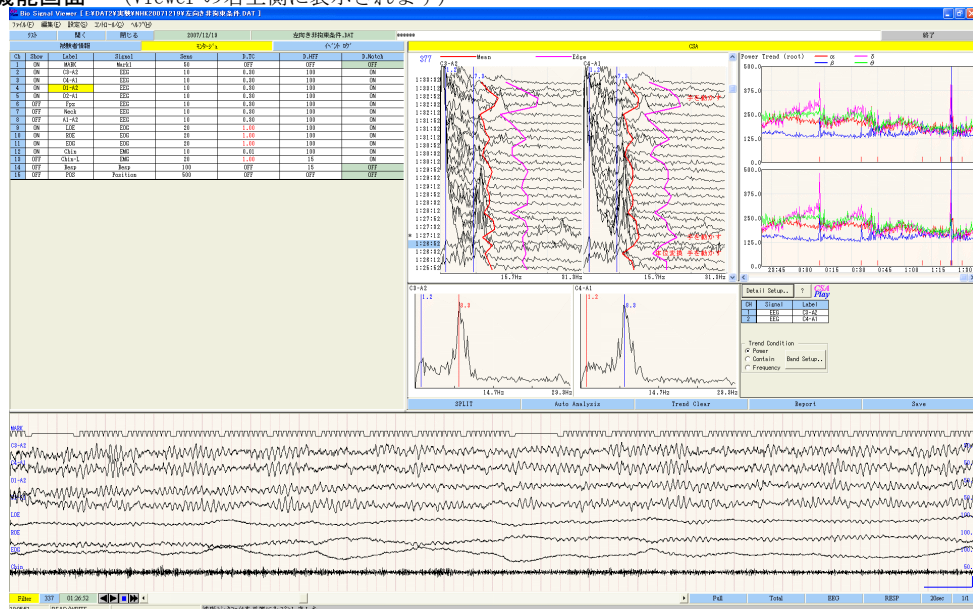


周波数再生解析機能(Compressed frequency spectral array)プログラム(**CSA Play Analysis**)は、判読リーダー(**Bio Signal Viewer**)にアドインして時系列データの周波数パワーをアレイ表示及び周波数パラメータをトレンド表示し、時系列データの周波数解析を行います。結果は、レポート印刷及びCSV形式のテキストファイルに保存して、他のアプリケーションで解析結果を扱うことができます。

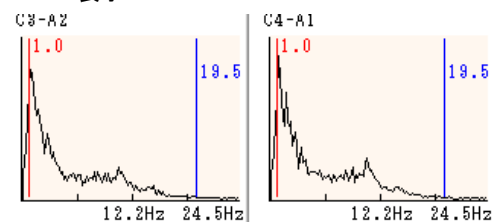
特徴

- **Bio Signal Viewer**のオプションソフトとして機能します。
- 最大4チャンネルの周波数解析が可能です。
- 最大32ラインまでのアレイ表示が可能です。
- アレイ表示には、周波数パラメータ値及びイベントマークを重ねて表示します。
- トレンド表示は、帯域パワートレンドと周波数パラメータトレンドが切り替え可能です。
- SPLIT表示で2つのアレイ表示を行い、異なる時間の状態を比較することができます。
- 結果は、レポート印刷して出力することができます。
- アレイ表示及びトレンド表示イメージをメタファイル形式でクリップボードにコピーできます。
- トレンドデータをCSV形式でファイル保存することができます。
- 操作ヘルプが充実しています。

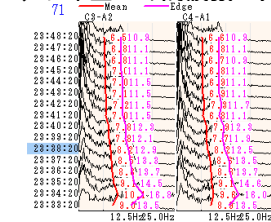
機能画面 (Viewerの右上側に表示されます)



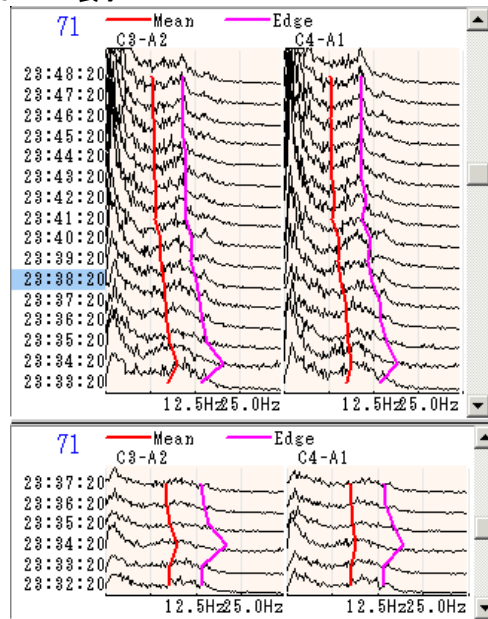
FFT表示



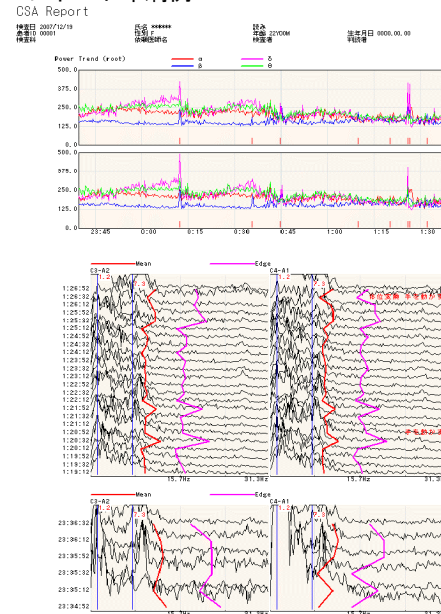
アレイ上への周波数パラメータ値表示



SPLIT表示



レポート印刷例



仕様

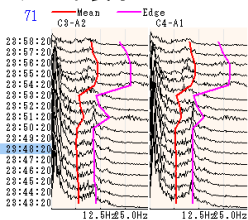
- 解析チャンネル数 最大4チャンネル (1~4チャンネル選択)
 - 周波数帯域 最大8帯域 (帯域のON/OFF、ラベル名設定可能)
 - アレイ表示 1~32ライン、周波数パラメータ表示可能、イベントマーク可能
 - トレンド表示 周波数パラメータトレンドと帯域パワートレンド切り替え
 - SPLIT表示 2つのアレイ表示を表示可能
 - レポート印刷 アレイグラフ、トレンドグラフ
 - クリップボードコピー グラフイメージ、トレンドイメージ、トレンドデータのテキスト形式でクリップボードコピー
- このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

動作環境

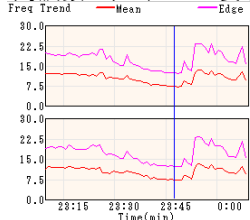
- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) Pentium 相当以上
- メモリ 128MB 以上 (Xp 512MB 以上 Vista, Windows7 2.0GB 以上)
- ハードディスクの残り容量 5GB 以上
- 表示解像度 1024×768 以上 (解析時には 1280×1024 以上推奨)
- 対応 OS WindowsXp, Windows2000, Windows Vista, Windows7 (日本語のみ)

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3.so-net.ne.jp
〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。

アレイ表示



周波数パラメータトレンド表示



帯域パワートレンド表示

